

コロナ禍で見えてきた

新しい生活スタイル

～おうち時間と家事シェア～

新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛や在宅勤務などにより家族と一緒に過ごす時間が増えた方も多いと思います。

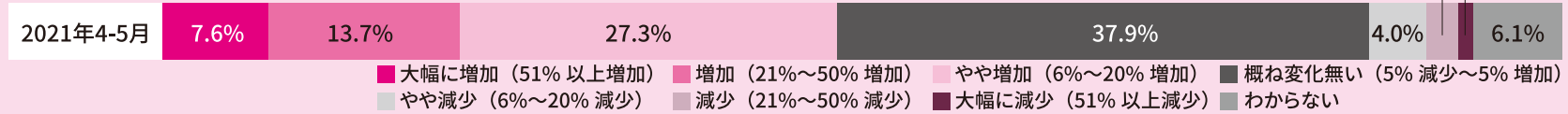
そんな中、家庭内での家事・育児への向き合い方にも変化が出ているようです。特に共働き世帯、子育て世代の夫婦にとっては、家事・育児を含めた家庭のあり方や生活スタイルを見直すきっかけになるのではないのでしょうか。

「データで見る」 コロナ禍の生活意識・行動の変化

2019年12月(感染拡大前)との比較を18歳未満の子を持つ親に聞きました

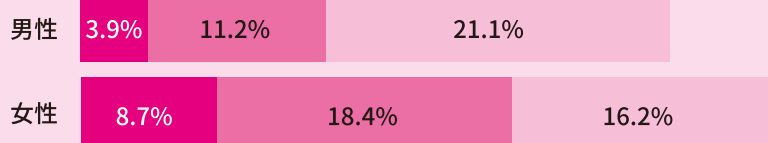
<内閣府 第3回 新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査より>

質問 家族と過ごす時間はどのように変化しましたか？



質問 家事・育児時間はどのように変化しましたか？

※増加したと答えた人の割合を抜粋



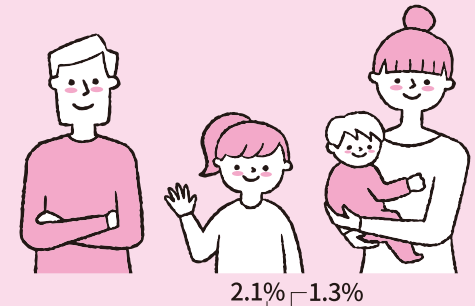
取手市の意識調査でも、同様の結果が出ています

<取手市男女共同参画に関する市民意識調査(令和2年10月)より>

既婚者の家事に費やす平均時間(1日当たり)

| | 平日 | 休日 |
|------------|---------------|---------------|
| 全体【646人】 | 152.0分(2.5時間) | 174.8分(2.9時間) |
| 男性全体【231人】 | 44.7分(0.7時間) | 81.2分(1.4時間) |
| 女性全体【414人】 | 211.9分(3.5時間) | 226.9分(3.8時間) |
| 自由記載【1人】 | 180.0分(3.0時間) | 240.0分(4.0時間) |

女性の家事に費やす時間(平日)は男性の約5倍



- 5割近くの人が「家族と過ごす時間が増えた」と回答
- 時間の使い方の変化では、男女とも家事育児時間が増加
- ただし、女性の方が家事・育児時間の増加が大きく、負担割合は感染拡大前とほとんど変わらない
(女性7割 男性3割:令和2年度内閣府調査結果より)

男性の場合は、家族と過ごす時間が増加した人の方が、そうでない人に比べて生活等に対する満足度が高い一方、女性の場合は家族と過ごす時間が増加した人の方が満足度が低いという調査結果もあります。

共働き夫婦の本音!?

家族が家にいる時間が増えると、家事も増えてしまう…



家にいる時はできるだけ家事を手伝っているのに…

『名もなき家事』をどれくらい知っていますか？

『名もなき家事』とは、「掃除」「洗濯」「炊事」といった一般的な名称でくれない、細々とした家事のこと。たとえば、「日用品の補充をする」「ゴミの分別をする」「洗濯物をしまう」など、家事には小さな目立たない作業が必ずついてまわります。一つひとつは小さくても、それらが誰か1人に偏れば、大きな負担になります。

家事を分担しても負担が減らないとしたら、この『名もなき家事』が抜け落ちているのかもしれない。

経験することで生まれる気づきと思いやり

「どちらか気づいた方がやる」は、どちらも気づくことができる場合に成り立ちます。ところが、自分が経験したことでなければ、無数にある『名もなき家事』にはなかなか気づけません。まずは、「それぐらい」と思える小さな目立たない作業も自ら経験してみることが大切です。

家事分担から家事シェア(共有)へ

家事シェア(共有)の要は、コミュニケーション

家事を分担したものの、担当以外はノータッチということはありませんか。家事は「誰かの仕事」ではなく「家族の仕事」であり、家族の生活を豊かに快適にしてくれるものです。

分担を分断にしないコツは、全員が家事全般に当事者意識を持つこと。それぞれの忙しさや状況に応じてシェアできるよう、夫婦や家族で話し合い、情報とルールを共有しましょう。

夫婦が本音で話せる魔法のシート

日々起こる家のことを分かち合い、お互いの気持ちを伝え合うためのコミュニケーションツール。ここからダウンロードできます。

内閣府 作戦会議



家庭生活 コロナ禍で 変わった？

市内2組の共働きご夫婦
にお伺いしました

最初の緊急事態宣言から1年半以上がたち、コロナ禍は私たちの生活や仕事のスタイル、そして意識に大きな影響をもたらしています。

今回、市内の2組の共働きご夫婦に、コロナ禍において、男女間での影響度の差異などについて夫婦別々に書面にてアンケートをお願いし、回答をいただきました。



※令和3年8月にアンケート取材実施

ケース1 40歳代夫婦 4人家族 お子さん 高校生2人

家族で過ごす時間が増加
妻 夫のテレワークで家事負担増加
夫 家事は出来る時に出来ることを

1組目は、市内にお住まいの共働きの40代のご夫婦。高校生2人の子どもを含めた4人家族です。アンケートの回答を見る限りでは、コロナ禍で働き方や生活リズム、時間の使い方が変化したことに、ご夫婦ともまだ戸惑いがあるように感じられました。

それぞれの勤務・生活面の変化について夫は、テレワークと時差出勤になり、睡眠時間が不規則になったり、業務スケジュールの調整が難しくなったと言います。妻は、週4日のパートタイム(1日6時間)で働きにしていますが、夫のテレワークなどで夕食時間が早まったため、平日の買い物時間が取れず、週末にまとめて買いをするようになりました。

家族で一緒に過ごす時間が多くなり、時間の使い方にも変化がありました。妻からは自分の居場所や時間が取れないという悩みも。一方夫は、同僚との飲み会が無くなり、その分家族との食事が増えたとのこと。外出や外食の自粛が続き、ストレス開放の場は無いようです。

コロナ禍で、妻の家事の負担は増えたようで、夫もその点は理解しています。しかし、在宅であっても仕事中に家事はできないため、出来る時に出来ることをすばいと考えています。一方、妻も、自宅に居るときは家事を手伝ってほしいというのが本音ですが、仕事中は仕方ないと考えています。

共働きの不安要素として、夫は、お互いの職場で感染リスクがあること、妻は、子どもの病気・怪我の時に休まなければならないことを挙げました。一方、共働きで良かったことは、経済的なゆとりが生まれたこと、働くことの大変さが理解できたこと、と妻は答えています。

他にも、実家への帰省の自粛、友人と気軽に食事に行けなくなったなど、家族や友人との関係についても影響が出ているとのことでした。

おうち時間が増えたことをきっかけに、家族の時間の過ごし方、自分の時間の作り方など、新しい生活スタイルになじむ工夫をされている様子が伺える内容でした。

ケース2 30歳代夫婦 3人家族 お子さん1歳

第一子誕生 夫婦で協力し家事・育児
妻 子どもの体調不良時は在宅ワーク
夫 夜勤もあるが家事・育児は半々

2組目は、昨年取手市に新居を構え、第一子を出産した結婚10年目30代のご夫婦です。人生の節目は新型コロナウイルスにより様々な制約を受けました。しかし、粛々と日々の生活を送っている姿に、ご夫婦の逞しさと次世代の風を感じました。

妻は、育休を終え今年5月から事務職として職場復帰されましたが、ご自身やお子さんの体調不良などの時はテレワークで対応してもらえるようになったそうです。しかし、会社の規定で育児短時間勤務が3歳の誕生日前までしか使用できないため、制度の見直し(対象年齢の拡大)について、会社に意思を挙げたいと思っているそうです。復職して子供の成長の瞬間(初めてできたことなど)を見ることが出来ないのは残念ですが、通勤時間などで自分の時間を作れるのは共働きの良い点でもあります。

夫は夜勤もある公務員です。共働きなら当然と思いき家事・育児は半々に役割分担し、自分の得意分野の料理・掃除機かけ・食材の買い物等を担当しています。女性が活躍するためには社会や職場において、男性側の育児休暇取得促進や協力体制への理解の向上が必要だと思っております。

家庭での役割分担が上手くいっていることについて、アドバイスを聞いたところ、「家事分担をある程度決めると各自のスケジュールも立て易くなる」ただし、「体調や気分の波もあるので、その時は素直にパートナーと話し合うこと」と大事なポイントを教えていただきました。

ご夫婦はコロナへの不安から旅行や帰省、外出が減り、仲の良い友達と会えなくなり連絡を取る機会が減ってしまいました。帰宅時の消毒に敏感になり、帰宅したらすぐお風呂に入るようにしているそうです。

保育所への送迎などとても上手くシフトしているのは、ご夫婦がお互いの利点を生かし尊重しながらもよく話し合って協働しているからだとおっしゃいます。このことが夫婦で協力し、家事・育児をしていく秘訣かなと納得しました。

連載企画

取手 Oh! 散歩

第1回

散歩がてら立ち寄れる身近な市内のおすすめスポットを連載で紹介します。第1回目は親子で楽しむことができる「小貝川ポニー牧場」です。

12頭のポニーが暮らす「小貝川ポニー牧場」。小さな子どもと一緒に親子連れで楽しめる牧場です。人参スティックをあげたり、公園一周や10分程度の小貝川沿いの引き馬体験ができます。勿論自分で操作する乗馬体験もできます。団体で申し込めば、カヤックやマウンテンバイクなどの野外体験活動も可能です。

お勧めは小貝川の土手沿いの引き馬です。春は桜・ポピー、秋は彼岸花・コスモスが咲き誇る自然を馬上から眺めるのは至福の時間です。週末は混むとのこと、予約をして「小貝川ポニー牧場」へ出かけましょう。可愛いポニーが首を長くして待っていますよ。

【小貝川ポニー牧場】 ☎0297-71-6520

- 取手市栲木49 ●入場無料(体験は有料)
 - 開場時間 9~17時(引き馬受付15時まで)
 - 休場日・(火)(祝日の場合は翌日(水))
- (公財)ハーモニセンター・小貝川いきいきクラブ



小貝川ポニー牧場
ホームページ

編集後記

コロナでマスク着用が日常風景となった今年も、恒例の「新語・流行語」が話題となる季節を迎える。日々「新語・略語・カタカナ語」が生まれ、社会や生活に溶け込んでいく。「ESG」「DX」「SDGs」「SNS」「デジタルデバインド」と挙げれば枚挙にいとまがないが、理解するには努力が必要な年代となった。新聞などで情報を得ているが、スマホの活躍もありがたい。せめて、時代の変化についていく気構え、感度は持ち続けたい。(糸井)

発行日 令和3年11月1日
編集発行 取手市 市民協働課 /
下園淳子 / 河口優子 / 落合伊佐男 / 糸井弘
〒302-8585 取手市寺田5139
TEL 0297-74-2141 / FAX 0297-73-5995
Email s-shien@city.toride.ibaraki.jp
http://www.city.toride.ibaraki.jp 表紙絵 有本 唯